

2015年北米ハンドメイド自転車展 出展支援・参加報告

平成27年3月6日～8日の3日間、今回で第11回目となる北米ハンドメイド自転車展が米国ケンタッキー州レイビルにあるケンタッキー国際コンベンションセンターで開催された。この展示会はハンドメイド自転車製品に焦点が絞られた展示会で、出展参加にあたって各企業は展示会事務局の事前承諾が必要である。この為、高級自転車製品の展示が中心となっており、小規模のフレームビルダーが新製品を展示する場所として注目されている。

この展示会は少しでも多くのフレームビルダーに出展の機会を与えるという主催者側の考えから、毎年開催地が変更されることも特徴の一つである。



ケンタッキー国際コンベンションセンター

当協会ではこの展示会のこのような背景から、一昨年からは国内のフレームビルダーや関連部品製造企業に対し、出展の機会が得られるよう出展支援業務を行っている。本年は3社から当協会に対し出展支援の申請があり、全ての出展が展示会事務局から認められ、当協会と一体となり日本企業によるグループ出展を行った。

展示会の概要

展示会の名称：2015 北米ハンドメイド自転車展（2015 North American Handmade Bicycle Show, 2015NAHBS）

会 期：平成 27 年 3 月 6 日～8 日

会 場：米国ケンタッキー州レイビル市 ケンタッキー国際コンベンションセンター

出展者数：125 社



会場入り口の模様



受付の模様

1. 展示会全体の様子

初日は 10 時の展示会オープンに先立ち 9 時からメディア向けの時間が設けられた。一昨年にデンバーで開催された時などは多くの地元テレビ局やラジオ局が取材に来ていたが、今年はメディアの取材はあまり見られなかった。この後 10 時から開場となったが、金曜日であり、しかも前日が観測史上まれにみる大雪であったため来場者数はそれほど多くはなかった。しかし 2 日目の土曜日になると大変多くの来場者に恵まれ、通路が人で埋まるような状況となった。またこの日の午後 1 時にはレイビル市長も訪れ挨拶を行った。最終日 3 日目は日曜日ということで来場者数はあまり多いようには感じられなかった。この展示会は入場料を払えば誰でも参観できる展示会であり、自転車好きの人達は勿論、親子連れ、家族で来場する人も多く、ビジネスショーとは違った雰囲気である。



挨拶に来たルイビル市長(右、左は主催者のウォーカー氏)



会場内の模様

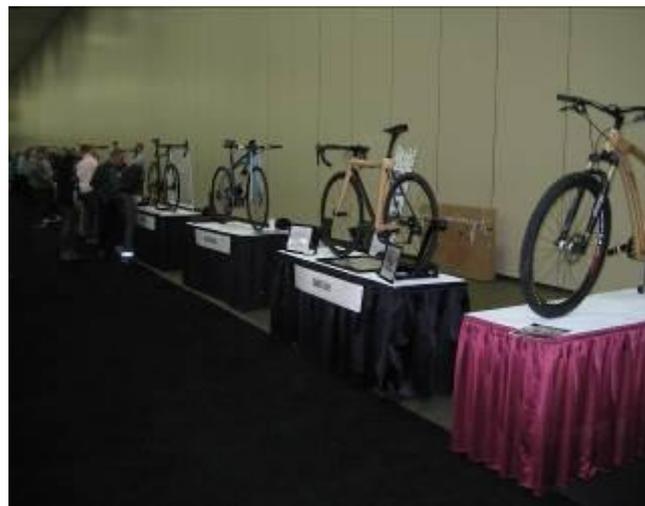
2. 完成車・フレームの展示

クロモリ製のロードバイクのほかMTBをはじめツーリングバイク、タンデム等各種の手作りの自転車が展示されていた。フレーム素材ではCFRPやアルミを用いた自転車、竹や木等の自然素材を加工したフレームを用いた自転車も数多く展示されていた。昨年から竹や木のフレームを用いた自転車が増えたほか、今年はチタン製フレームの自転車が多く展示されているように見受けられた。



主催者ウォーカー氏も出展、同氏の小間の模様

また、この展示会の本来の目的であると言ってもよい、若いフレームビルダーに低価格で出展の機会を提供する場であるニューフレームビルダーテーブルというコーナーは健在であった。この区画には以前からのハンドメイド展の雰囲気そのまま残っていた。



ニューフレームビルダーテーブルの模様

更に今年は出展者のなかに日本以外のアジアの人が見られた。昨年まではみられなかった光景である。

この他、昨年までと同様本年も各賞が選ばれた。今年は日本からは毎年単独で独自に出展されている(有)今野製作所ケルビム号製造販売の自転車が、あるコンポーターメーカーの自社製品装着完成車賞の第二位に選出された。



受賞したケルビムの自転車

3. 自転車・フレーム以外の展示等について

自転車やフレームの展示以外にウェアやアクセサリーの展示は昨年あたりから増えていたが、今年もその傾向が続いており、華やかな印象が感じられた。従来のハンドメイド自転車に焦点を絞った展示会という位置づけから、自転車製品全体に展示物を広げた展示会へという変化は継続している。コンポーネント、タイヤ、ホイールやフェンダー、各種のパイプ、サイクルパーツ、更にTシャツをはじめとしたウェア関係やサイクルキャップ等、様々な自転車関連製品が展示されていた。大手コンポーネントメーカーは出展のほか、展示会のスポンサーにもなっており、また前述のとおり独自の賞を設定するところもあり、積極的な取り組みがみられた。

一方3日間の会期中に各種のセミナーも開催された。フレームビルダー向けの技術的・素材関係の内容のもののほか、自身が如何にして起業し成長させたかといった内容のものや、知的財産権関連、保険会社によるセミナー等が開催された。

4. 当協会の実施した出展支援業務及び日本企業のグループ出展について

当協会では一昨年からこの展示会に出展を希望する日本の自転車関連製品企業に対し出展支援を行っている。本年は以下のとおり完成車1社、部品製造企業1社、タイヤ製造企業1社の計3社から当協会に対し出展支援の申請があった。当協会では展示会事務局に対し、これら3社分の出展申請の代行を行い、展示会事務局より出展承諾を得たうえで、出展料の立て替え払い、展示会HPへの登録等各種出展手続き、展示会事務局に対する小間位置の調整交渉、出品物搬出入方法の助言等を行った。こうした支援業務は、地味ではあるが出展支援申請企業から好評である。

展示会事務局からは、出入り口に近い良い位置にまとまった小間が割り当てられ、小さい規模ながらも日本企業によるグループ出展を行うことができた。出展支援申請企業各社からは当協会に対し来年も同様の出展支援業務を行ってほしい旨の要望もいただいている。

2015北米ハンドメイド自転車展 当協会出展支援実施企業一覧

出展社名 (英文名)	住 所	電話 F A X	主な出品物
二九精密機械工業株式会社 FUTA-Q	〒601-8454 京都市南区唐橋経田町 33-3	075-661-2931 075-661-2937	完成車
株式会社本所工研 HONJO	〒130-0003 東京都墨田区横川 2-19-10	03-3625-2431 03-3625-2433	フェンダー
パナソニックポリテクノロジー株式会社 PANARACER	〒530-0044 大阪市北区東天満 2-9-1 8階	06-6354-7810 06-6354-7834	タイヤ



二九精密機械工業株式会社



株式会社本所工研



パナソニックポリテクノロジー株式会社

5. 次回の北米ハンドメイド自転車展について

第 12 回目となる次回の北米ハンドメイド自転車展は 2016 年 2 月 26 日～28 日にカリフォルニア州サクラメントで開催される事が発表された。事務局によるとこの決定は非常に好評で、早速小間の予約が入り始めているそうである。

以 上